

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021～2023年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
体操教室を行い、介護予防活動の普及・啓発を推進する。	ニーズ調査の結果から、「体操・運動」に関心が高い高齢者が多い傾向があるため、既存の体操教室を充実することにより、介護予防につなげていく。	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 36回 脳わくわく若返りトレーニング講座 24回 フレイルサポータースキルアップ講座 1回	目標	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 36回 脳わくわく若返りトレーニング講座 24回 フレイルサポータースキルアップ講座 1回	チャレンジ太極拳 47回 元気体操教室 44回 脳わくわく若返りトレーニング講座 21回 フレイルサポータースキルアップ講座 1回	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 46回 脳わくわく若返りトレーニング講座 23回 フレイルサポータースキルアップ講座 1回	コロナ禍により減少していた体操教室の回数は回復し、参加人数も2021年度の494人から、2023年度には554人に増加した。毎年、年1回フレイルサポーターのスキルアップ講座として県派遣事業を利用した低栄養フレイル教室を実施。2023. 8. 30に開催した教室には13名が参加し、人材育成を図った。また、2022. 10. 31には松茂町社会福祉協議会のフレイル測定会を手伝うなど、活動の場を工夫した。	○	認知症予防の教室はニーズがあるため、講座の拡充が検討課題。2023. 5. 23に開催された町の健活イベントを通じて新しく口腔体操の周知を実施。体操教室の参加者は固定化しているため、新規参加者の掘り起こしが必要。
			実績	チャレンジ太極拳 38回 元気体操教室 36回 脳わくわく若返りトレーニング講座 16回 フレイルサポーター養成講座 1回	チャレンジ太極拳 47回 元気体操教室 46回 脳わくわく若返りトレーニング講座 21回 フレイルサポータースキルアップ講座 1回	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 46回 脳わくわく若返りトレーニング講座 23回 フレイルサポータースキルアップ講座 1回			
いきいき百歳体操等を開催することで、住民主体の通いの場を創り出す。	ニーズ調査の結果から7期計画時に引き続き「閉じこもりリスク」を抱えている方が約2割存在しており、徒歩でも通える場を創ることで閉じこもり予防や生きがいづくりを推進する。	3ヶ所 (うち1ヶ所は休止状態)	目標	3ヶ所	3ヶ所 (うち2カ所は休止状態)	4ヶ所 (うち1カ所は休止状態)	休止中だった通いの場が2022. 11. 17から再開し、2023年度には新規の通いの場を1カ所立ち上げた。	△	休止中の通いの場が再開するなどコロナ禍の影響が解消してきたため、今後も通いの場を増やすよう働きかける。町の健活イベントでインボディなど健康状態の測定を実施し、通いの場での測定支援についても周知を行う。
			実績	3ヶ所	3ヶ所 (うち2カ所は休止状態)	4ヶ所 (うち1カ所は休止状態)			
自立支援ケア会議を開催し、高齢者が地域で自立した生活が送れるようにする。	認定者の内訳を分析すると要支援2、要介護2が増加傾向にあり、身体的な重度化予防に効果があると見込まれるため、高齢者のQOLの向上を目指し専門職の助言を得てケアプランの改善を図る。		目標	2回	3回	4回	自立支援ケア会議を年3回実施。他職種の専門的観点から、介護支援専門員に助言をもらうことで、ケアマネジメントの質の向上に繋がった。また、会議でのニーズを受けて家族介護支援を目的とした認知症カフェを2023. 7. 11と2024. 1. 23に開催した。	○	会議を通じてインフォーマルサービスの不足や、地域医療や保健師との連携の重要性、近所に交流の場が必要など地域課題が浮かび上がった。今後も引き続き開催し、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを支援し、高齢者のQOL向上を目指す。自立支援ケア会議での回数目標は、2023年には達成できなかったが、困難事例に対して個別ケース会議を2023年度に7回開催し、ケアプランの見直し・改善を図った。
			実績	2回	3回	3回			